

令和 7 年 2 月 12 日

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

所 在 地 大分市高崎 4-19-4
団 体 名 NPO 法人大分に科学を広める会
代表者氏名 代表理事 工藤 康紀
電 話 090-3987-7299
担当者名 
担当者連絡先 

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第 5 条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事 業 名 科学講演会

2. 事業の概要

科学講演会を年間 2 回開催する。1 回は大分市内の小中学生を対象に、もう 1 回は中学生・高校生から成人までを対象に、県内外から科学分野の第一線で活躍している方を招き、講演会を実施する。

本事業は専門的な科学知識を持った人の講演を通して、科学に対する興味関心を喚起し知識を深めることを目指す。子ども達にとっては、将来の夢を身近なものに感ずることができる機会を提供し、大人には身近に存在する科学を考える契機とすることを目的とする。

3. 事 業 費 262,000 円4. 交付申請額 152,000 円

5. 概 算 交 付 ☐概算交付を希望する。
☒概算交付を希望しない。

※ 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添 付 書 類
- (1) 団体調書（様式 1-1、1-2）
 - (2) 事業計画書（様式 2）
 - (3) 収支予算書（様式 3）
 - (4) 団体要件・事業要件確認シート（様式 4）
 - (5) 誓約書（様式 5）
 - (6) 規約、会則、定款等の写し
 - (7) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3 月の第 1 回定例会での予算可決をもって決定されます)
- (ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) えぬピーおーほうじん おおいたにかがくをひろめるかい NPO法人 大分に科学を広める会				
住所	〒 870-0872 大分市高崎 4-19-4				
代表者氏名	(ふりがな) くどう こうき 工藤 康紀		FAX (団体)	097-545-3832	
電話 (団体)	097-545-3832		E-mail (団体)	kkudoh@oct-net.ne.jp	
設立年月日	平成 27 年 9 月 25 日	ホームページ	有 ・ 無	団体構成員数	24 人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	15		その他の分野	2, 6, 13
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所				
	氏名		FAX		
	電話		E-mail		
主な活動地域	☒ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	「科学館」のない大分では多くの子どもたちが「科学を楽しむ・感じる・経験する」機会が少ない。そのため「大分の子どもたちのために科学体験を増やそう、科学館を作ろう」を主な目的として活動している。子ども向けの科学体験教室を開催すると同時に、科学講演会を小中学生や一般社会人向けに企画実施する。また、科学館の意義の啓発に努める。				
これまでの主な活動実績	年度	事業名		実施回数	参加者数
	R 6	科学体験教室(南大分・大南・植田公民館など)		12 回	約 240 名
	R 6	青少年のための科学の祭典大分大会 2024		1 回	約 440 名
	R 6	科学講演会(1%応援事業)		1 回	62 名
これまでに補助や委託を受けた実績	年度	補助(委託)元	補助事業名		金額
	R 5	国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金	青少年のための科学の祭典大分大会 2023		460,611 円
	R 6	宇佐市	青少年のための科学の祭典大分大会 2024		489,500 円
	R 6	大分市	1%応援事業		93,235 円

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

1% 応援
事業補助
対象事業
を記載

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
科学講演会	① 中高生から大人を対象に開催 ② 小中学生を対象に開催	① 7 月 ② 11 月	大分県立図書館	① 150 名 ② 150 名	2	262
青少年のための科学の祭典大分大会 2025	子ども達に科学の不思議さ・面白さ・楽しさを体験してもらう。	8 月 3 日	大南公民館	300 名	1	600
科学体験教室	身近な科学を体験する	随時	市内公民館	200 名	10	10
小 計					13 (a)	872 (c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回 数 (延べ)	予 算 額 (千円)
						0
						0
小 計					0 (b)	0 (d)

合 計	(a)+(b) 13	(c)+(d) 872
-----	---------------	----------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(a)+(b) 100 % (A)	(c)/(c)+(d) 100 % (B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A) + (B)} ÷ 2 ※小数点以下は四捨五入してください。	100 %	

事業計画書

事業名	科学講演会	
事業内容	主な対象者	小中学生・高校生・一般社会人
	内容	科学講演会を2回開催する。一回は大分市内の小中学生を対象に、もう一回は中高生から社会人までを対象に、県内外から科学分野の第一線で活躍している方を招き、講演会を実施する。いずれの場合も、講演終了後講演者との質疑応答を行う。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期(月)	内容
	5月	講演テーマの決定と講師の選定 講師との日程等の打ち合わせ①
	8月	ポスター・チラシの作成と配布① 中学高校生、一般社会人を対象の講演会実施
	5月	ポスター・チラシ作成と配布②
	9月	講師との最終打ち合わせ②
	11月	小中学生対象の講演会実施
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	☒ ホームページ ☒ チラシ、広報誌 ☐ facebook 等の SNS ☒ その他(具体的に) ・大分市内の公民館等にチラシを配布、小中学生高校生に一人一枚のチラシを配布 ・NPO 法人大分に科学を広める会の HP での広報 ・新聞等マスコミへの広報の依頼	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	・NPO法人 大分に科学を広める会 への入会者を増やすよう努める。 ・寄付金を呼びかける。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	① 小中学生や高校生は学校では得られない新しい科学知識を深め、将来の夢を身近なものにすることができる。 ② 第一線で活躍する講演者との交流を通して、さらなる好奇心を高め、探求心を深めることができる。 ③ 地域における科学的知識を深めることによって、諸問題の解決への意識を高めることができる。今年度は地球環境・地域防災や人体・健康への考え方を深められるようなテーマを検討中。	
新規事業・継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☐ ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☒ ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業名：科学講演会

1 【収入】 (単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
補助金収入	152,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	2,000	入会金等
事業収入	0	
寄附金収入	54,000	企業・個人からの寄附金
その他	54,000	NPO 法人繰越金から
合計	262,000	

2 【支出】 (単位：円)

項目	金額	説明 (積算等)
報償費	20,000	大学教員など2名 10,000×2名
旅費	160,000	講師招聘旅費：飛行機代・ホテル代等2名分
消耗品費	10,000	コピー用紙、インクカートリッジ代、消毒液等
燃料費	0	
食糧費	8,000	講師2名食事代 【補助対象外 8,000 円】
印刷製本費	55,000	広報用ポスター・チラシ作成2回分
通信運搬費	7,000	郵送代金など
広告料	0	
保険料	2,000	ボランティア保険
手数料・委託費	0	
使用料・賃借料	0	
原材料費	0	
備品購入費		
合計	262,000	【うち補助対象経費 254,000 円】

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。